

結果圓滿解決に別紙ノ覺書ヲ交換セリ
右取申一通ニ報復也

別紙

覺書

東京湯屋三株式会社意見出張所ニ於ケル今般ノ解雇ニ于シ当事者相互以誠意ヲ以テ協議、結果左ノ通リ圓滿解決セリ
一 会社ハ解雇者ノ窮状ニ衷心同情シ、後ニ發表セル手当及慰勞金ノ外更ニ解雇者金員ニ對シ懇懇金五千元也、特別手当ヲ支給ス
但シ右分限ニ付テハ会社側ノ視守守ヲ希望シ、組合側ニ於テ考慮スルコト
二 会社ハ今後監督官長著シキ変化ナキ限リ解雇セザル様努ムルコト
三 会社ハ其ノ規律ヲ著シキ限リ従業員ノ労働組合加入ノ自由ヲ妨ケズ
四 会社ハ今回ノ解雇者ニ對シ事業厚生ノ場合ハ公平ニ優先的ニ診察ト上格別ナクモトス
右覺書二通ヲ協議ニ相違ニ一通ヲ所封ス

昭和五年七月二十五日

東京湯屋三株式会社代表

従業員代表日本労働組合

岡 美介 良 頼
近 藤 武 雄
石 尾 政 勝

5. 9. 4
1633

労秘第二九三六號

昭和五年八月三十日

警視總監 丸 山 鶴 吉

内務大臣 安達謙藏 殿
社 會 局 長 官 殿

東京給水株式會社ノ勞働争議ニ関スル件 (第三報)

要旨

會社側ニアリテハ千三百従業員代表ト會見ニ於テ巨額欠限ノ讓歩要求ヲト提呈セシメ、従業員側ハ協議會ヲ組織シテ二案ヲ決定シテ千五百従業員會見トシテ第一案ニ對シ折衝シタルヲ要協定見出シマラス

標記勞働争議ノ其ノ後ノ経過並記ノ通

一 経過並交渉状況

記